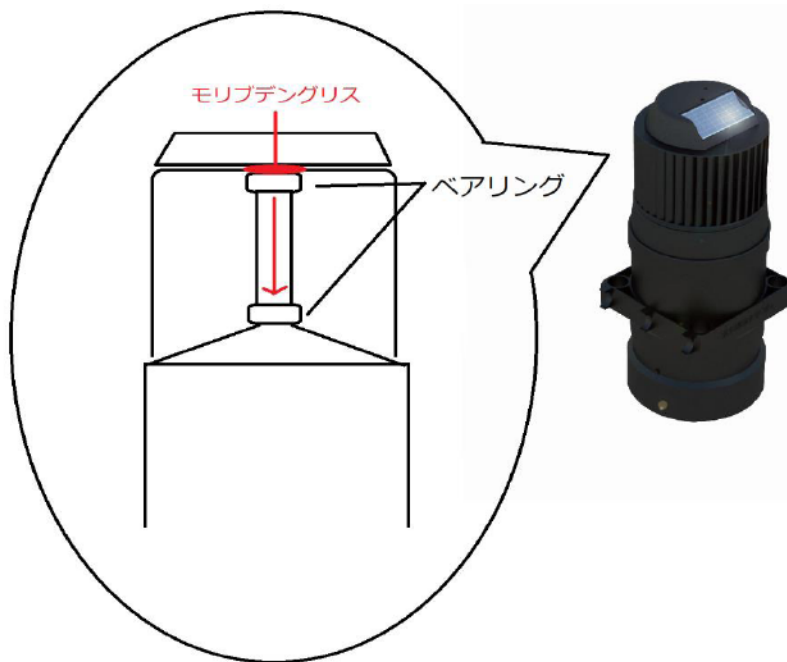


潤滑、メンテナンスについて

空動扇内部にはベアリングが二つ入っており、通常は上部ベアリングのさらに上にためられたモリブデングリスが上部ベアリング、軸、下部ベアリングの順に流下し潤滑をおこなっている。



長梅雨等で回らない期間が長く、その後急激な晴れ等で動き出すと、グリス切れの状態では回ってしまうことがある。回転が渋い場合は下部ベアリングにCRC等潤滑剤を吹くと改善する場合が多い。SOLARの場合、回転抵抗が大きい状態で稼働を続けるとモーター等が破損する恐れがあるため、早めの対処が必要。



またフィルム張替等で空動扇を外す際に、モリブデングリスの残量確認、補充を行うことが好ましい。